



## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月11日

上場会社名 札幌臨床検査センター株式会社  
 コード番号 9776 URL <http://www.saturin.co.jp/>

上場取引所 東札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桶谷 満  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 荘司 晃久

TEL 011-613-3210

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	8,838	4.8	492	54.7	508	53.8	326	57.7
2019年3月期第2四半期	8,433	3.3	318	37.5	330	36.8	206	40.3

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 324百万円 (59.5%) 2019年3月期第2四半期 203百万円 (40.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	95.25	
2019年3月期第2四半期	60.05	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	11,262	8,271	73.4	2,416.28
2019年3月期	10,677	7,981	74.7	2,331.49

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 8,271百万円 2019年3月期 7,981百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		10.00	10.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,401	2.0	824	1.1	845	4.0	552	5.6	161.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	4,216,000 株	2019年3月期	4,216,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2020年3月期2Q	792,698 株	2019年3月期	792,698 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	3,423,302 株	2019年3月期2Q	3,443,048 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による景気対策を背景に、緩やかな回復基調が続き、企業の景況感に底堅さが見られ、個人消費は持ち直しており、所得・雇用環境の改善が続いております。

一方で、通商問題の動向が世界経済に与える影響や中国経済の先行きなど海外経済の不確実性や、消費税率の引き上げに対する心理的影響により、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが拠点を構える北海道の経済におきましては、観光は来道者数が増加し、設備投資・個人消費は緩やかに持ち直しており、雇用情勢の改善が続いております。

医療業界におきましては、2019年10月に診療報酬・薬価改定が実施されるなど、医療費抑制政策が続いており、業界を取り巻く経営環境はより一層厳しい状況にあります。

このような状況の下、当社グループは、医療機関の多様化するニーズに応えた営業活動を展開し、新規顧客の獲得及び調剤薬局の新規出店による営業基盤の拡大に努めると共に、引き続き経費効率を重視した収益基盤の強化に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高8,838百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益492百万円（同54.7%増）、経常利益508百万円（同53.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益326百万円（同57.7%増）と増収増益になりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ① 臨床検査事業

臨床検査事業におきましては、既存・新規顧客との取引が順調に推移したこと、原価圧縮に加え設備投資を一部繰延べたことから、売上高2,982百万円（前年同期比2.2%増）、セグメント利益239百万円（同46.4%増）と増収増益になりました。

## ② 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、継続的なかかりつけ薬剤師・薬局への体制強化等に向けた取組みに加え、前期に開局した店舗及び既存の店舗が堅調に推移したことから、売上高5,419百万円（同6.6%増）、セグメント利益451百万円（同41.2%増）と増収増益になりました。

## ③ 医療機器販売・保守事業

医療機器販売・保守事業におきましては、福祉用具の販売・貸与が順調に推移しましたが、備品の販売が前年同期を下回ったことから売上高391百万円（同0.5%減）となり、且つ人材、設備への投資を行ったことからセグメント損失7百万円（前年同期はセグメント利益1百万円）になりました。

## ④ その他の事業

臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守におきましては、売上高45百万円（前年同期比27.0%増）、セグメント利益29百万円（同9.9%増）になりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は5,735百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,026百万円減少（前連結会計年度末比26.1%減）いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が13百万円増加しましたが、現金及び預金が2,044百万円、商品が18百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は5,527百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,612百万円増加（同89.6%増）いたしました。これは主に建物及び構築物（純額）が26百万円、投資有価証券が15百万円それぞれ減少しましたが、土地が2,600百万円、リース資産（純額）が26百万円、建設仮勘定が23百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は11,262百万円となり、前連結会計年度末に比べ585百万円増加（同5.5%増）いたしました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は2,706百万円となり、前連結会計年度末に比べ275百万円増加（同11.3%増）いたしました。これは主に未払金が22百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が180百万円、賞与引当金が120百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は284百万円となり、前連結会計年度末に比べ19百万円増加（同7.4%増）いたしました。これは長期未払金が6百万円減少しましたが、リース債務が24百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,991百万円となり、前連結会計年度末に比べ295百万円増加（同10.9%増）いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は8,271百万円となり、前連結会計年度末に比べ290百万円増加(同3.6%増)いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益326百万円及び剰余金の配当34百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は73.4%となり、前連結会計年度末比1.3ポイント下回りました。

また、1株当たり純資産は2,416円28銭となり、前連結会計年度末比84円79銭増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年10月より薬価が改定されたことに加え、消費税率引上げによる影響から、下期の業績動向を精査中であり、2019年5月13日に公表しました数値を据え置いております。

今後の業績の動向を踏まえ、修正が必要と判断した場合は、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,477,997	2,433,979
受取手形及び売掛金	2,652,462	2,666,159
商品及び製品	525,110	506,684
仕掛品	8,128	16,174
原材料及び貯蔵品	53,651	54,186
その他	76,917	85,139
貸倒引当金	△32,121	△26,962
流動資産合計	7,762,145	5,735,361
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,192,998	2,192,270
減価償却累計額	△1,327,919	△1,353,738
建物及び構築物(純額)	865,079	838,532
機械装置及び運搬具	39,412	43,552
減価償却累計額	△32,077	△33,921
機械装置及び運搬具(純額)	7,334	9,631
工具、器具及び備品	2,632,371	2,628,236
減価償却累計額	△2,346,918	△2,333,415
工具、器具及び備品(純額)	285,453	294,820
土地	916,894	3,517,466
リース資産	65,093	94,884
減価償却累計額	△30,949	△34,376
リース資産(純額)	34,144	60,507
建設仮勘定	—	23,144
有形固定資産合計	2,108,906	4,744,103
無形固定資産		
その他	53,566	46,801
無形固定資産合計	53,566	46,801
投資その他の資産		
投資有価証券	164,513	149,149
長期貸付金	353	297
長期前払費用	30,071	28,122
差入保証金	257,326	252,839
繰延税金資産	169,467	165,619
その他	148,279	162,214
貸倒引当金	△17,091	△21,675
投資その他の資産合計	752,921	736,569
固定資産合計	2,915,394	5,527,474
資産合計	10,677,540	11,262,835

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,864,733	2,045,707
リース債務	10,604	15,416
未払法人税等	145,825	191,514
賞与引当金	116,545	237,223
未払金	96,849	74,331
その他	196,404	142,166
流動負債合計	2,430,963	2,706,358
固定負債		
リース債務	28,112	52,716
役員退職慰労引当金	75,870	75,881
退職給付に係る負債	20,831	22,023
長期未払金	133,716	127,472
資産除去債務	2,000	2,000
その他	4,668	4,727
固定負債合計	265,199	284,821
負債合計	2,696,162	2,991,179
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	983,350	983,350
資本剰余金	1,015,270	1,015,270
利益剰余金	6,595,116	6,886,954
自己株式	△633,162	△633,162
株主資本合計	7,960,574	8,252,412
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,802	19,243
その他の包括利益累計額合計	20,802	19,243
純資産合計	7,981,377	8,271,656
負債純資産合計	10,677,540	11,262,835

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	8,433,020	8,838,310
売上原価	5,907,565	6,075,581
売上総利益	2,525,454	2,762,729
販売費及び一般管理費	2,206,892	2,270,005
営業利益	318,561	492,723
営業外収益		
受取利息	291	226
受取配当金	3,211	3,112
受取賃貸料	25,031	24,795
その他	14,696	13,759
営業外収益合計	43,230	41,894
営業外費用		
支払利息	759	904
賃貸収入原価	22,850	24,016
その他	7,760	1,629
営業外費用合計	31,370	26,550
経常利益	330,422	508,066
特別損失		
固定資産売却損	1,799	—
固定資産除却損	749	29
会員権評価損	50	—
投資有価証券評価損	—	17,532
減損損失	11,158	—
特別損失合計	13,757	17,561
税金等調整前四半期純利益	316,664	490,505
法人税等	109,913	164,434
四半期純利益	206,751	326,070
親会社株主に帰属する四半期純利益	206,751	326,070

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	206,751	326,070
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,350	△1,559
その他の包括利益合計	△3,350	△1,559
四半期包括利益	203,400	324,511
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	203,400	324,511
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	医療機器 販売・保 守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,919,400	5,085,062	393,101	8,397,563	35,456	8,433,020
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	314,265	314,265	458	314,724
計	2,919,400	5,085,062	707,367	8,711,829	35,915	8,747,744
セグメント利益	163,289	319,735	1,399	484,424	26,482	510,906

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	484,424
「その他」の区分の利益	26,482
セグメント間取引消去	5,727
全社費用(注)	△198,072
四半期連結損益計算書の営業利益	318,561

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

遊休資産のため、報告セグメントに配分されない減損損失11,158千円を計上しております。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	医療機器 販売・保 守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,982,666	5,419,370	391,241	8,793,279	45,031	8,838,310
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	318,277	318,277	307	318,584
計	2,982,666	5,419,370	709,519	9,111,557	45,338	9,156,895
セグメント利益又は損失 (△)	239,091	451,374	△7,622	682,843	29,110	711,954

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	682,843
「その他」の区分の利益	29,110
セグメント間取引消去	4,665
全社費用(注)	△223,896
四半期連結損益計算書の営業利益	492,723

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。